

# 年男 インタビュー

今年は十二支の3番目となる寅年。寅年生まれの方は前向きでチャレンジ精神が強く、どんなことにも強い信念を持って挑んでいく傾向があるそうです。我が社の寅年の方々はいかがでしょうか。今年は本社の《年男》森谷顧問と総務課鈴木係長のお二人にインタビューしました！

Q1 寅年生まれの傾向に関してご自身ではどう思われますか？何かエピソードがあったら教えてください。  
 Q2 今の会社の雰囲気はいかがですか？  
 Q3 毎日お仕事忙しいかと思いますが、息抜きでの楽しみは何ですか？  
 Q4 今年の抱負を教えてください。



**森谷顧問：**  
 Q1 中学高校と吹奏楽部に在籍し、トランペットを吹いておりました。高校時代には牛乳配達で貯めたお金で楽器を購入しました。予備校・大学時代には新聞配達を続け、奨学金にて卒業する事ができました。「継続は力」になりました。



Q2 皆様の努力により企業基盤の充実が図られ、それに伴い職場環境も改善されて来ました。会社として、働く方への誠意が感じ取れます。



Q3 週一回10年程続けているジム通いと45年続けているゴルフを楽しむ事です。自宅では、ジャズのレコードを聴く事も息抜きになっています。

↑スコアカードにはその日の調子が細かく記されています

Q4 健康で心の余裕を持ち、人に迷惑を掛けない事です。長年連れ添った家内との旅行もしたいと思っています。

**総務課 鈴木係長：**  
 Q1 あまりそうは思いませんが、入社して10年が過ぎました。7~8年前に総務課へ異動になり、どちらかという苦手な経理や人事の仕事をする事となりましたが、右も左も分からない中で、少しずつ仕事を覚えて何とかやってこれた事でしょうか。

Q2 社員同士が協力し合える関係がありワークライフバランスも両立出来ているし、フリーアドレスにより清潔感のある労働環境になって風通しが良い感じだと思います。



Q3 ゲーム(スマホ)をする事や作業をする事が息抜きになっています。お菓子を食べる事も楽しみの一つです。

Q4 健康と戒煙(喫煙)の両方(どんな時もおごらず焦らず騒がず堅実に取り組む)です。



↑鈴木係長の自作。爪楊枝などを使い作り上げていくそうです

お二人とも真面目で誠実、周囲から頼られる存在なところがまさに「寅年」でしょうか！森谷顧問、鈴木係長ありがとうございました。

会社情報はホームページを！ <http://tps-s.co.jp/>  ブログも随時更新中ですのでぜひご覧ください！

あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願いいたします。  
 今月号では業務課アシスタントの岩淵さんが「社内報作成デビュー」を飾りました。社内報の作成はパソコン技術以上にセンスが必要なので大変、苦手とを感じる人も多そうです。岩淵さんの担当した年男インタビューでは丁寧に準備をし、とても熱心にインタビューをしていて、その真摯な姿に横で写真を撮っていただけの私は少し反省しました。2022年は「初心忘るべからず」に決定です！

**編集後記**

編集委員 岩淵、尾形、小松、中村、山田 (50音順)

2022年 1月号 号 **TPSニュース** vol.122  
 光る輝きをサポートします ~究極の夢と空間を追い求めて~  
 繁栄物語助演会社 株式会社ティ・ピー・エスサービス  
 住所 仙台市泉区上谷刈字治郎兵衛下48-3  
 電話 022-372-0815  
 発行責任者 藤巻 紀夫  
 この紙面は「繁栄物語助演会社」として地域の皆様、お客様、社員、お取引先の皆様、そして志を共にする関係業界の皆様のお役に立つために編集されています

## あけましておめでとうございます

旧年中は大変お世話になりました。本年も宜しくお願い申し上げます。

TPSサービスでは昨年10月に30期を迎え、成長する企業として今年も多くのチャレンジに挑んでいきます。まずは5ヶ月ビジョンに掲げた「個性(ヒト)のチカラを社会(マチ)のチカラに」を達成していく第一歩として健康経営を目的とした本社営業日及び営業時間の変更を2022年1月よりスタート致します。ただし、清掃、設備点検といった現場業務は今まで同様に契約に合わせて施工致します。ご不便をお掛け致しますが何卒よろしくお願い申し上げます。

**営業日：月～金曜日** ※祝日、夏季休業、年末年始休暇を除く  
**営業時間：8時30分から17時30分**

**社長コラム**

新年あけましておめでとうございます

本年もどうぞ宜しくお願い申し上げます

新しい年を迎え、皆さんはどんな夢や目標を設定されましたでしょうか。2022年は古いものを打ち壊して新しいものを立ち上げる。「スクラップ&ビルド」の年になると言われております。過去に執着せず新しく挑戦をする。失敗を恐れず、思いついたことをどんどん実行してみよう。ちよっとしたひらめきを行動に移して日々挑戦したいものです。一昨年前からのコロナ禍が今なお続いており、ある意味では世の中も生活も仕事も、大きな変化の時代となりました。私たちがとって大事なモノとそうでないモノも変わってきているはずだと思えます。不要なモノは手放し、必要なモノを手に入れる年にしましょう。

トライ&エラーを繰り返し「新陳代謝」して《新しい自分》になっていく、そんな刺激的で輝ける2022年にしましょう。

青藤 正人

# ～そして時は移ろい行く～



サンファン ガイスタ号



定禅寺通り2021SENDAI光のページェント

いよいよ新年のスタートです。昨年もあっという間だったと感じていらっしゃる方も多いのではないのでしょうか。皆さま各々悲喜こもごも様々な出来事があった事かと思えます。そんな中、冬の風物詩「イルミネーション」が昨年暮れも各地で開催されました。「杜の都」として知られる仙台が「光の都」と姿を変えました。定禅寺通りのイルミネーションはケヤキ112本に42万球もの電飾が施され通りを暖かく彩ってくれました。美しい光は年に一度のプレゼント。幾年を惜しみながら寒空の中、なぜか心がほっこりしました。



パークタウンタピオにて



2021初日の出松島湾洋上



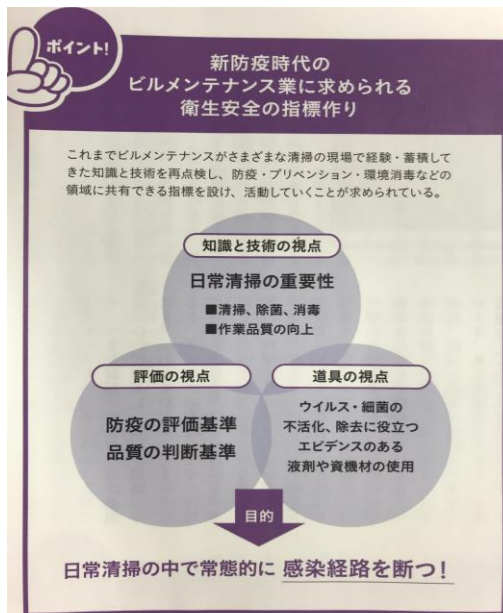
今年のおせち料理

コロナ禍の中、ここ数年は宮城、日本だけではなく世界中を取り巻く環境が大きく変わりました。新年を迎え、どうぞ家族ともども穏やかで平穏無事な一年を過ごせるようにと願うばかりです。お互いを励まし合い、また笑顔を絶やさず頑張ってください！まずは健康第一！無病息災！小生にいたっては遅かりしながら肉体改造に取り組む所存にて候。皆さまも目標に向かって飛躍の年となりますように。（おせちが食し、日本酒を嗜む…。これが日本男児のお正月～♪）

文責 山田

## 【特集】ビルメンテナンス業界の**新防疫時代**を考える！

これまで以上に社会から求められている、消毒・除菌などの作業を通じた感染症対策。今回の新型コロナウイルス感染症の長期間に及ぶ蔓延によって、国の動きも変化してきました。その渦中に立つビルメンテナンス事業者と防疫体制について考えて見たいと思います。



### ●指標作りの必要性和日常清掃の大切さ

・現状、防疫面・クオリティの判断基準がない状況下、先々の対策まで考えていく事の必要性があります。清掃現場でいかに感染経路を断つかが今後の課題となります。今後、国・業者・作業員共通の指標を持ったマニュアル作りとその実践が必要となります。今後は必然的に消毒や除菌を含めた「清掃+防疫」商品が基準化されていく方向性となっていくと考えられます。

### ●日頃からお客様に対して正しい知識を持って対応する必要性

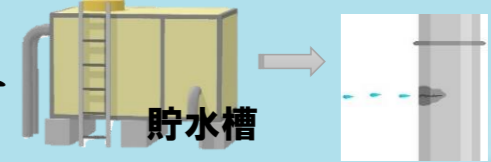
・全国ビルメンテナンス協会が開始したのが「感染予防対策衛生管理士/IPCC」という新たな防疫の認定制度です。社会全体からの感染防止の担い手としてビルメンテナンス業界に対して期待感が寄せられています。認定授受、的確なアドバイスをお話できるよう今後の取り組みをして参ります。

★状況を的確に把握しながら、これからも皆さまのニーズに寄り添い業界として取り組んで参ります!★

# 注意 冬場の凍結

今年も冬がやってきました。昨年に続きラニーニャ現象が発生しているとみられ、ラニーニャの冬は寒い傾向だそうです。冬場の凍結から事故や設備機器の不具合などが起こりやすいため、注意や早めの対策が必要です!!

## シーン1 貯水槽凍結



昨年の厳しい寒さで貯水槽の凍結が多く起こり、弊社でも多くの解凍や凍結防止ヒーター交換の要請がありました。当然ながら貯水槽が凍るほど寒い日は同時多発的に起こりますので、卸売やホームセンターでは凍結防止ヒーターや断熱材が在庫なしになります。凍結により配管が破裂、水漏れとなると断水になりますし、修繕費用も結構掛かってしまいます。各配管に巻かれている凍結防止ヒーターの通電チェック、配管から水漏れがないかのチェックを冬場はこまめにしたいところです。

夏場に凍結防止ヒーターのコンセントを抜いてる場合は、さし忘れにも注意です。寿命が10年位の凍結防止ヒーターですが、直射日光や風雨にさらされる屋外に設置されてますので、耐用年数も場所によってまちまちです。ラッキングからの水漏れにも要注意です。内側の断熱材が水を含み、凍ってしまいます。冬場に限らず、日々の目視点検が大切です。



## シーン2 転倒災害



冬場の転倒災害は、車から外へ事務所から作業場へなど、身体が寒さになれないうちに慌てて行動して起こることが多く起こりやすいです。特に出入り口付近では、路面、床面の質が異なっていることもあり、急いで駆け込むことで転倒する事故につながります。弊社でも通勤時に駐車場出入口の歩道の凍結により従業員が転倒し骨折する事故が起きました。



さらに、寒さでついポケットに手を入れて歩く事(ハンドポケット)が、災害が起きた際の重症化にもつながっていると言われています。転倒災害は、手、ひざ、腰(尻)、胸、肩、頭と年齢とともに受傷する部位の位置が高くなり場合によっては死亡事故にもつながる恐れがあるため十分に注意が必要です。冬場はいざという時のためにもポケットに手を入れて歩くことは控え、滑りにくい靴を着用するなど自己対策に努めましょう。



貯水槽の凍結は昨年多くのお問い合わせを受けました。解氷するまでは時間がかかり、その間は断水してしまいますので、凍結防止の対策がとられているかは寒くなる前にご確認することをおすすめしています。